

2022年度 愛知県キャンプ協会総会議事録

日時：2022年5月22日(日)9時30分～10時30分 会場：至学館大学9000号館

1 開会のことば(時安理事長兼事務局長)

出席者 23人、委任状36名 正会員75人 *会則19条第1項 正会員数の3分の1以上の出席をもって成立。

2 あいさつ 武藤会長

愛知県キャンプ協会の将来計画を「愛知県キャンプ協会戦略プラン2022-2025」として取り纏めた。本会の目指すべき最終目標の達成に向けて、1年ごとにその成果を確認して推進していきたい。本プランを会員の皆様と共有し、会員一人ひとりが傍観者となるのではなく「自分ごと」として捉え、解決に向けて知恵を絞ることができるよう浸透していくことを期待し、引き続き本会へのご理解とご協力をお願いしたい。

3 議事録署名人選出 ※事務局から提案された、会長、山根真紀理事と正会員の関尾剛氏を選出。

4 議事 ※議長 <武藤会長> *会則19条第2項 総会の議長は会長とする

第1号議案 2021年度事業報告(説明：時安理事長)

1) 2021年度総会(2021年5月30日)オンライン実施。参加28人、総会表決参加4人、委任状33人

2) 普及推進事業

・ユニバーサルキャンプフェスタ2021

大高緑地公園会場(10月3日):新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。

安城デンパーク会場(10月23、24日):6つのアクティビティ。1日目521人、2日目1263人。

7団体54人の運営スタッフが7月から11月にかけて実行委員会を9回実施。

3) 研修事業

・キャンプアカデミー2021 ※第2回は新型コロナウイルス拡大防止のため中止

①第1回:7月14日(水)19:00~20:40 オンライン開催 参加者17人

「組織キャンプのネクストビジョン~持続可能なキャンプ団体・指導者のために~」

講師:公益社団法人日本キャンプ協会今井専務理事、依田事務局長

③第3回:3月12日(土)~13日(日) 会場:愛知県美浜少年自然の家 定員:20人 参加者:7人

「防災にも繋がるキャンプ講習会」 ※後援:特定非営利活動法人愛知ネット

講師:特定非営利活動法人愛知ネット内藤瑤氏、松原秀典氏、愛知県キャンプ協会役員、

内容:体験を通して考え・動き・学ぶ時間は次への活動に繋がる。学び続けたいという感想多数。

・キャンプ安全の日(公益社団法人日本キャンプ協会 全国一斉安全啓発キャンペーン)に3団体参加。

4) 指導者養成事業

・キャンプインストラクター養成講習会 参加者:13人(申込22人)資格申請13人(2022年度会員)

期日:2022年2月25日(金)~2月27日(日)会場:豊田市総合野外センター 定員20人

内容:一人野外炊飯、調理道具メスティン使用法、テント設営と撤収、キャンプファイヤーの準備と運営、野外でのケガの手当てや搬送法等に関する様々な講義・実習を実施した。

・教員免許状更新講習

期日:8月9日(月)~8月11日(水)会場:愛知県美浜少年自然の家 定員20人、参加者7人

講師:時安理事長、平田前会長(公益社団法人日本キャンプ協会会長)

内容:参加者の学ぼうとする意欲は高く活動前後のディスカッションにおいても、活発な意見交換が行われ、受講者同士の学び合いが充実していたため、講習会全体の受講者の満足度も高かった。

5) 調査研究事業

日本キャンプ協会「ビジョン2025」をもとに愛知県キャンプ協会の将来計画の作成を検討。2021年度は6つの観点で検討し、2022年度の総会で、次期将来計画案(2022-2025)を提示することとしている。

6) 情報発信事業

正会員77人(団体会員含む)。ホームページのリニューアルを検討していたが十分に進めることができなかった。将来計画と併せて検討しており2022年度中に具体案をまとめる。

7) 事務局

2021-2022役員改選:橋本啓副会長(名古屋YMCA)、新に5人の理事が就任。

日本キャンプ協会55周年事業9月18日~9月20日、第25回日本キャンプミーティング等に参加。

質問・意見なし 賛成多数で承認

第2号議案 2021年度決算報告・監査報告(説明:増田理事)

<主な収入>

・会費のべ287人、団体会員10人。子どもゆめ基金551,510円、日キャン資格登録手数料191,000円 他。

・会費収入が約20万円(100人)見込みより少ないことにより、収入全体として減収となっている。

<支出の部>

・研修会費、管理経費ともに無駄な支出を省いた運営ができた。

・事業費が当初より8万円ほど超過したが、あいちキャンプフェスタ2021安城会場を2日間実施したことのスタッフ人数によるが、子どもゆめ基金での補助金収入もあるので全体として適正な支出である。

<運営基金>

- ・周年行事実施や不測の事態対応のために、予定どおり 20 万円を積み増すことができた。

<監査報告> (報告：二宮監事)

- ・帳簿、領収書、預金通帳等すべて適正に処理され、帳簿等にされている。
- ・感染予防措置を万全に講じて実施可能なイベントを企画すること。そして、何より本協会活動が安定的かつ継続的に行えるよう財政の健全化を図るため、策定する「中期事業計画」を実質化し、収入増加策等課題解決に向けて総力を挙げて取り組むことを強く要請します。

質問・意見なし 賛成多数で承認

第3号議案 愛知県キャンプ協会将来計画「戦略プラン 2022-2025」

武藤会長から将来計画の理念について説明。

2021 年度収支報告や監査報告にもあったとおり協会を取り巻く状況は非常に厳しい。日本キャンプ協会の「ビジョン 2025」と連携を図り、将来計画「戦略プラン 2022-2025」としてまとめた。具体的に詰めることがまだできていないが、各年度及び 4 年間のロードマップを項目ごと作成し、年度ごとの報告を総会でさせていただく。

時安理事長より、「戦略プラン 2022-2025」について資料をもとに説明がなされた。

<質疑 応答>

萩原様 4 年間の年度ごとの表題に「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」「チャレンジ」とあるが、これはどういう意味か。

回答→ 日本キャンプ協会の「ビジョン 2025」の記述に沿っているが、元は陸上競技の三段跳びの 1 歩目「ホップ」、2 歩目「ステップ」、3 歩目「ジャンプ」から来ていると思われる。

舟橋様 私が会長を務めていた時代と協会運営がかなり厳しい時代となっているが、役員の皆さんが知恵を出し合い「連略プラン 2022-2025」が達成するよう頑張ってください。

賛成多数で承認

第4号議案 2022 年度事業計画（説明：時安理事長兼事務局長）

- ・ あいちキャンプフェスタ、キャンプアカデミーは前年度と同様の実施回数を考えている。
- ・ 総会後に第 1 回キャンプアカデミーとして日本福祉大学山本克彦教授による「キャンプと災害ー大規模自然災害に備えるキャンプ教育ー」を実施する。
- ・ 愛知県キャンプ協会将来計画「戦略プラン 2022-2025」をドメインごとにロードマップを作成するとともに、各ドメイン間で情報共有する将来計画実施委員会を作り実施して行く。

<質疑 応答>

藤井理事 日本キャンプ協会中部北陸ブロックの 2022-2023 年度幹事県は福井県である。資料の修正をお願いしたい。

回答→ ご指摘のとおり。修正する。

賛成多数で承認

第5号議案 2022 年度予算案（説明：増田理事）

- ・ 会費は個人会員 300 人、15 の団体会員を目標に収入を設定する。
- ・ 2 事業が子どもゆめ基金の助成対象として認められ、200 万円を予算に計上する。
- ・ 管理費については節約に努め 31 万円減額した。

<質疑 応答>

舟橋様 事業収入の参加費として「子ども探検隊」とあり事業計画には無かったが。

回答→ 子どもゆめ基金の助成認定は受けているが、期日や事業の詳細が理事会で詰められていないので事業計画に掲載しなかったが、実施する方向で検討している。

賛成多数で承認

5 その他 (時安理事長兼事務局長)

- ・ 昨年度策定した(公社)日本キャンプ協会の「ビジョン 2025」を配付している。愛知県キャンプ協会の将来計画にも関係があるので、ぜひ内容ご確認ください。
- ・ 「キャンプディレクター必携」の改訂版が 2022 年 4 月に発行された。

以上、議事録に間違いありません。

2022 年 5 月 22 日

議事録署名人 山根 真紀

議事録署名人 関尾 剛

議長 武藤 正美